

# 治安等に関する調査結果 (令和8年1月実施)

- テーマ  
「治安等に関する調査」
- 調査目的  
県民の皆様の治安等に関する御意見を伺い、安全に安心して暮らせる鹿児島を創造するための警察活動に役立てるため。
- 実施時期  
令和8年1月
- 対象者数  
200人
- 回答者数  
138人 (69.0%)

※一部項目では、令和7年3月調査時の数値を（ ）内に記載

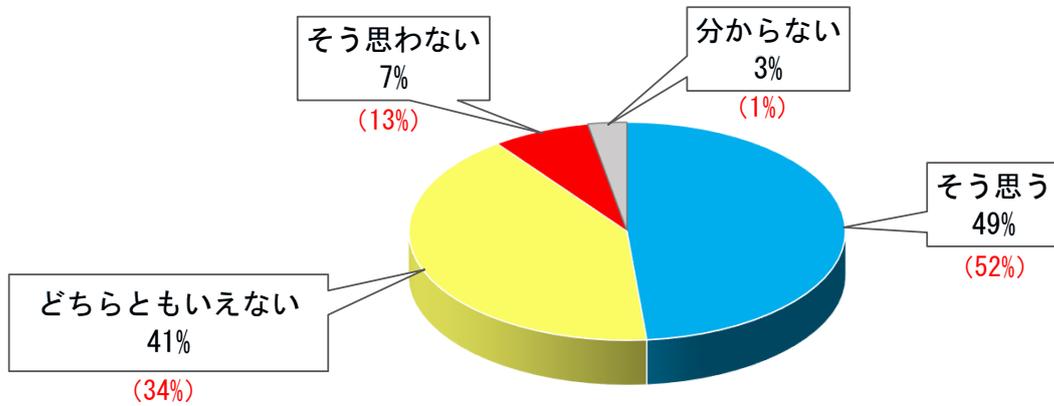


令和8年3月  
鹿児島県警察本部



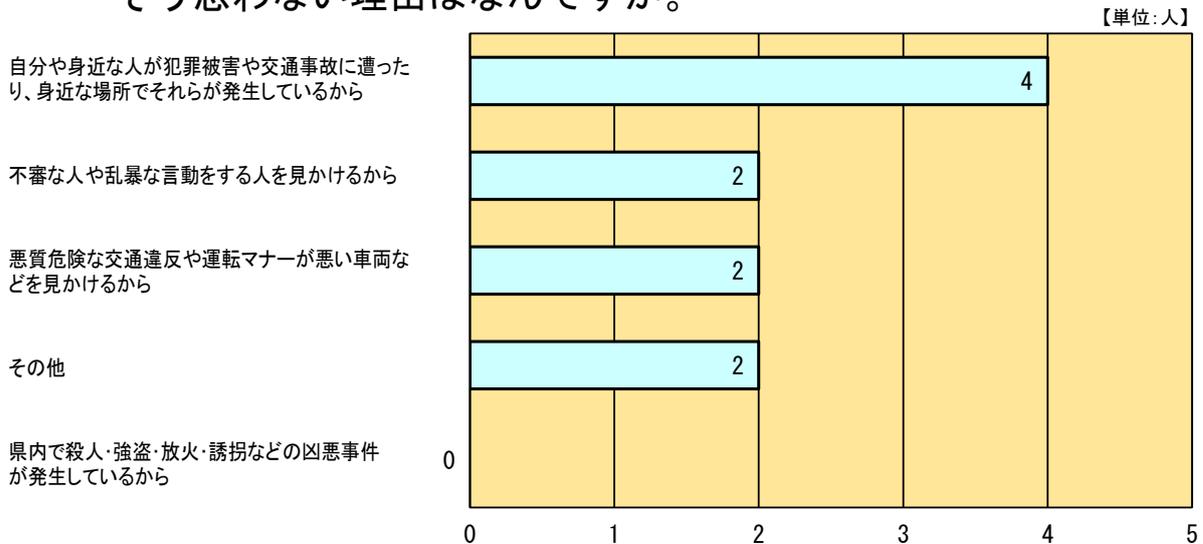
# 1 鹿児島県の治安について

問1 現在の鹿児島県が、治安が良く、安全で安心して暮らせる県であると思いますか。



「現在の鹿児島県が、治安が良く、安全で安心して暮らせる県であるか」について、「そう思う」と回答した方は49パーセントで前回調査から3ポイント減少し、「どちらともいえない」と回答した方は41パーセントで7ポイント増加した。一方、「そう思わない」と回答した方は7パーセントで6ポイント減少した。

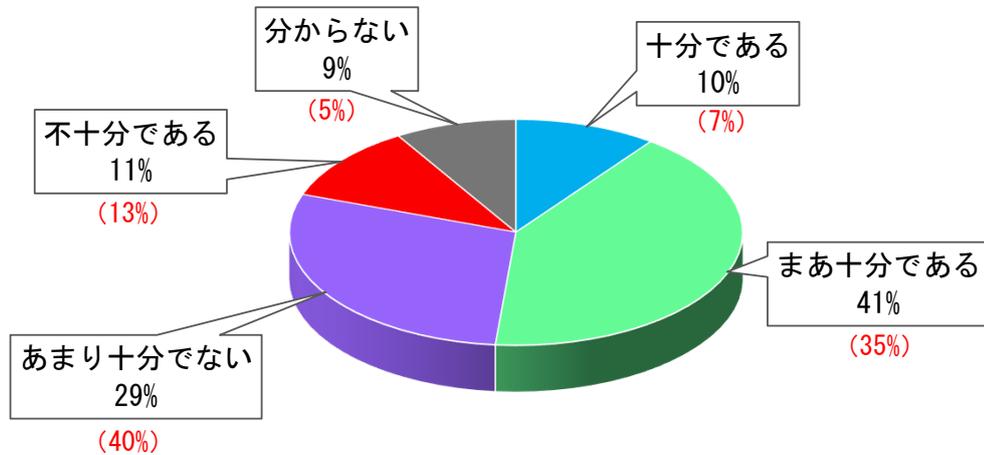
問2 問1について、「そう思わない」を選んだ方に質問します。そう思わない理由は何ですか。



問1について、「そう思わない」と回答した方の理由として、「自分の身近な人が犯罪被害や交通事故に遭ったり、身近な場所にそれらが発生している」という回答が最多で、次いで、「不審な人や乱暴な言動をする人を見かける」、「悪質危険な交通違反や運転マナーが悪い車両などを見かける」等の回答が多い。

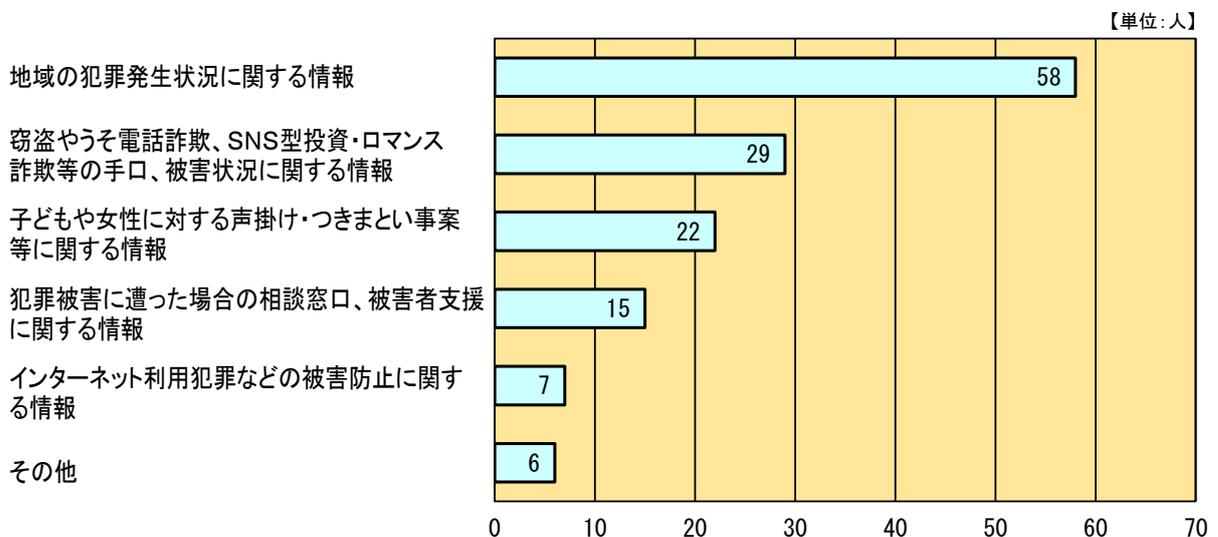
## 2 治安や犯罪に関する情報について

問3 警察及び自治体からの治安や犯罪に関する情報提供の内容は十分であると思いますか。



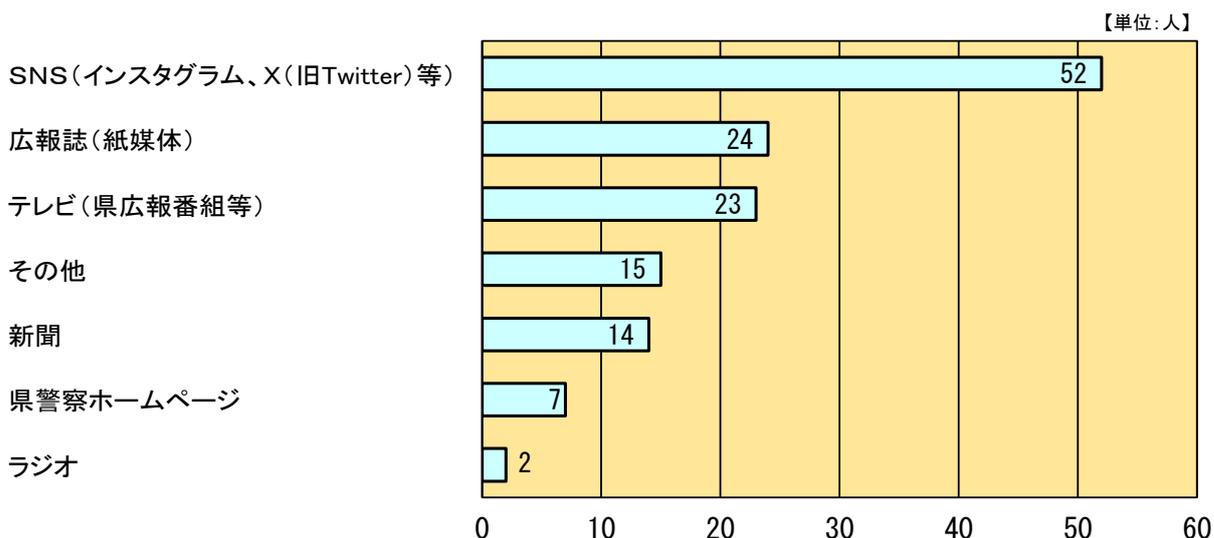
「警察及び自治体からの治安や犯罪に関する情報提供の内容」について、「十分である」又は「まあ十分である」と回答した方は51パーセントで前回調査から9ポイント増加した。一方、「あまり十分でない」又は「不十分である」と回答した方は40パーセントで13ポイント減少した。

問4 治安や犯罪に関する情報として、警察から特にどのような情報が提供されたら良いと思いますか。



「警察に提供を求める情報」について、「地域の犯罪発生状況に関する情報」が最多で、次いで、「窃盗やうそ電話詐欺、SNS型投資・ロマンス詐欺等の手口、被害状況に関する情報」、「子どもや女性に対する声掛け・つきまとい事案等に関する情報」の順に回答が多い。

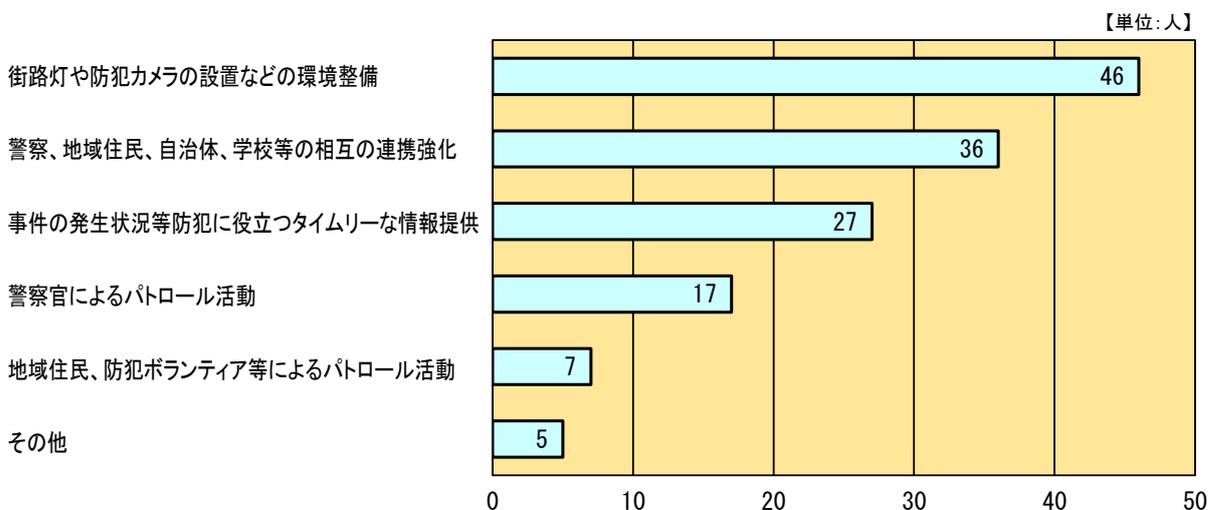
問5 警察からの情報提供は、どのような手段が良いと思いますか。



「警察からの情報提供方法」について、「SNS」が最多で、次いで、「広報誌（紙媒体）」、「テレビ」、「新聞」の順に回答が多い。また、「その他」の中には、「防災行政無線」の回答が複数あった。

### 3 犯罪の起きにくい社会づくりについて

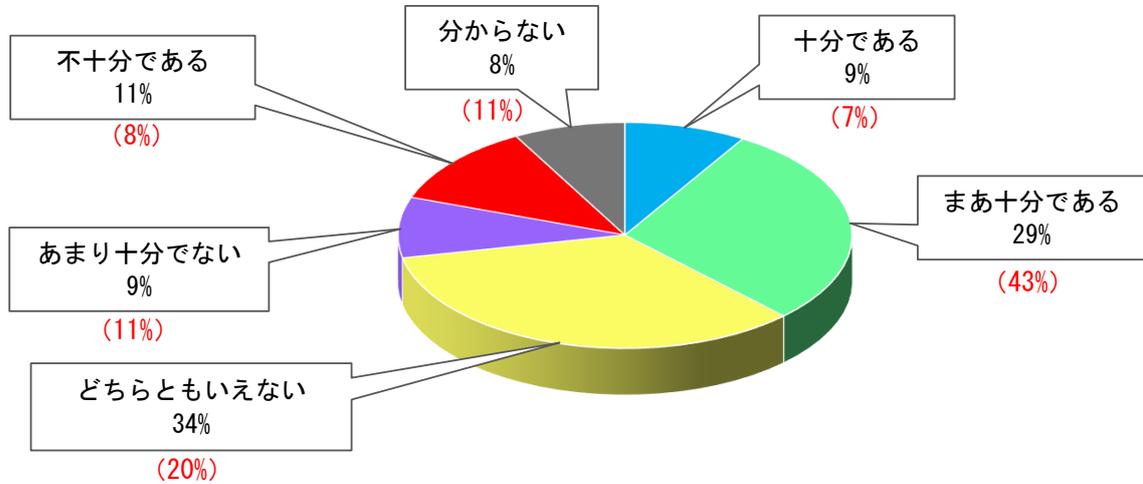
問6 犯罪の起きにくい社会づくりを実現するためには、特にどのような取組が必要であると思いますか。



「犯罪の起きにくい社会づくりを実現するために必要な取組」について、「街路灯や防犯カメラの設置などの環境整備」が最多で、次いで、「警察、地域住民、自治体、学校等の相互の連携強化」、「事件の発生状況等防犯に役立つタイムリーな情報提供」、「警察官によるパトロール活動」の順に回答が多い。

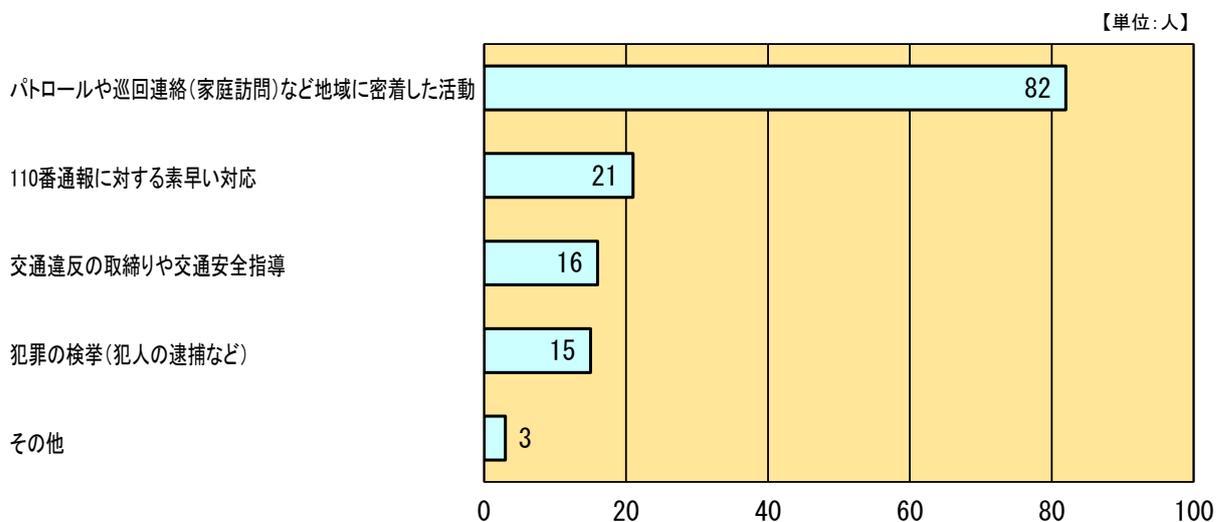
## 4 交番・駐在所の活動について

問7 近くの交番・駐在所の警察官の活動について、十分であると思いますか。



「近くの交番・駐在所の活動」について、「十分である」又は「まあ十分である」と回答した方が38パーセントで前回調査から12ポイント減少し、「どちらともいえない」と回答した方が34パーセントで14ポイント増加した。一方、「あまり十分でない」又は「不十分である」と回答した方が20パーセントで1ポイント増加した。

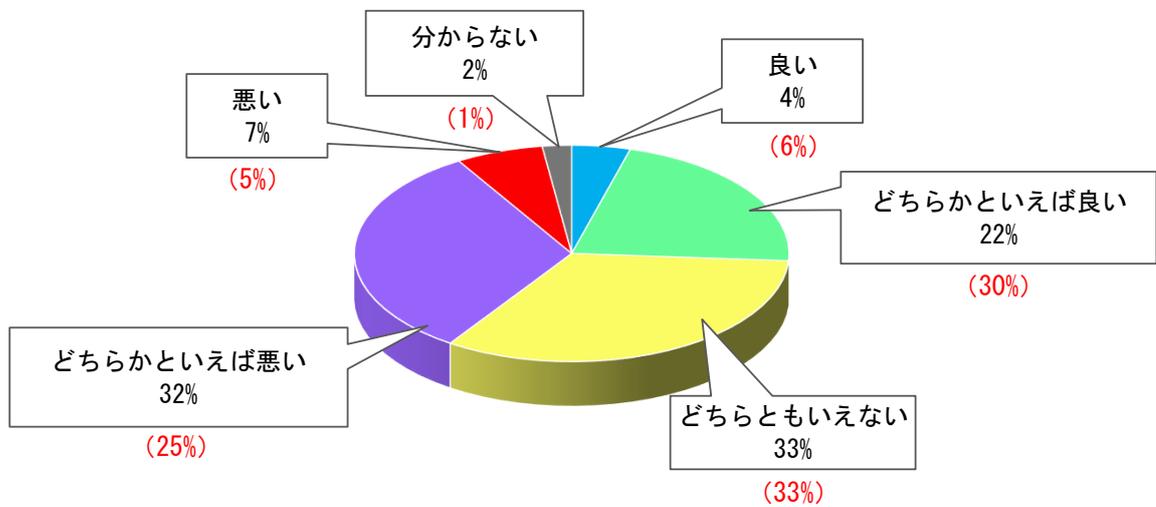
問8 今後、交番や駐在所の警察官にどのような活動を特に強化してほしいと思いますか。



「交番や駐在所の警察官に求める活動」について、「パトロールや巡回連絡(家庭訪問)など地域に密着した活動」が最多で、次いで、「110番通報に対する素早い対応」、「交通違反の取締りや交通安全指導」、「犯人の検挙(犯人の逮捕など)」の順に回答が多い。

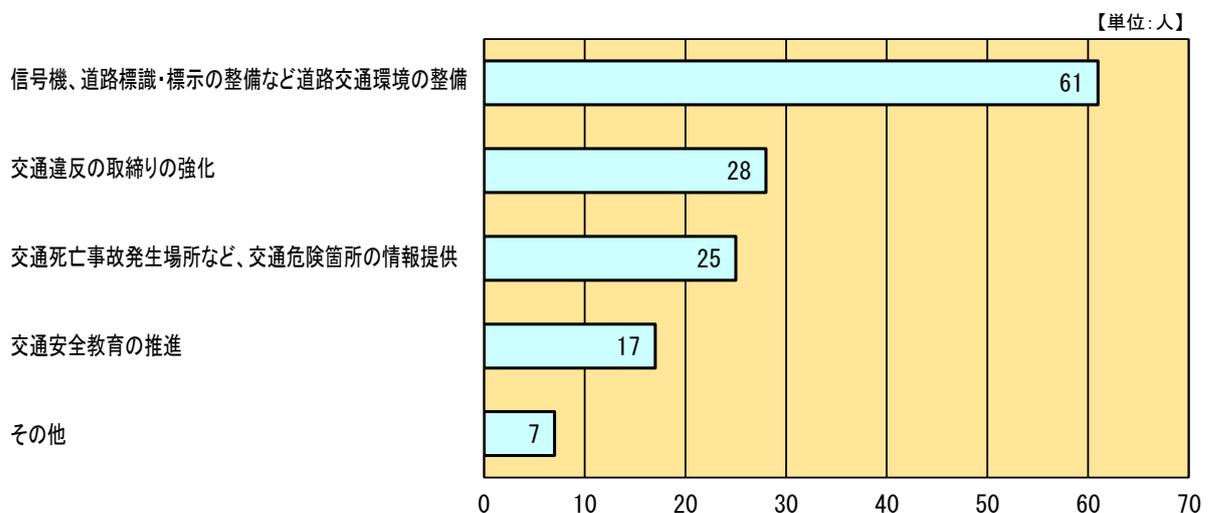
## 5 交通事故抑止対策について

問9 鹿児島県内の交通マナーについてどのように感じていますか。



「鹿児島県内の交通マナー」について、「良い」又は「どちらかといえば良い」と回答した方が26パーセントで前回調査から10ポイント減少し、「どちらともいえない」と回答した方は33パーセントで増減なし。一方、「どちらかといえば悪い」又は「悪い」と回答した方が39パーセントで9ポイント増加した。

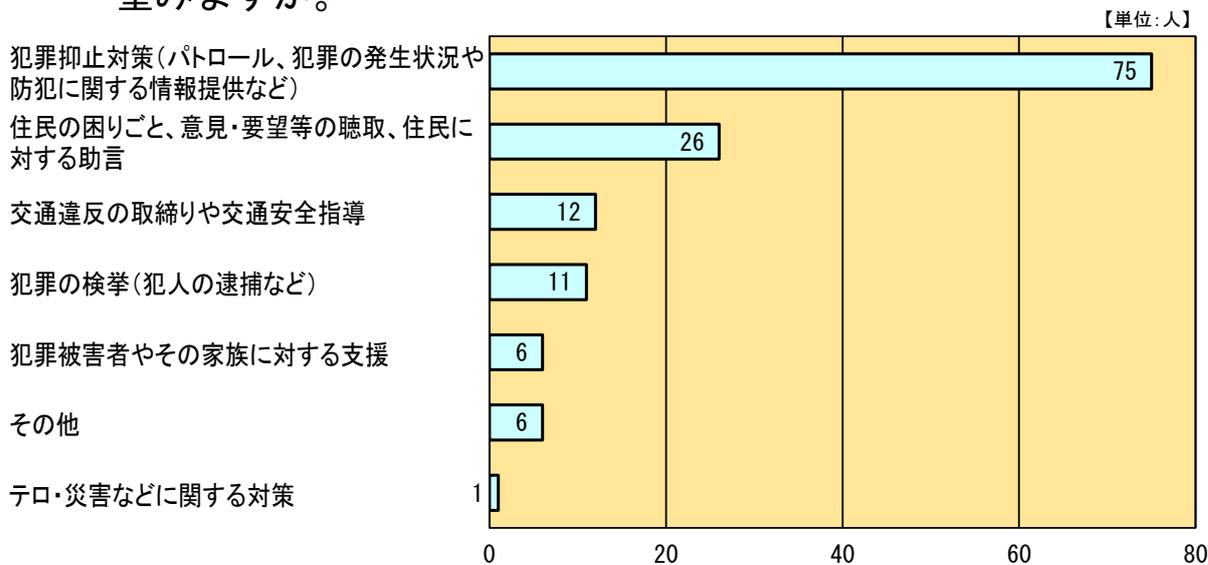
問10 交通事故抑止対策として、特に警察に力を入れてもらいたいことは何ですか。



「交通事故抑止対策として特に警察に力を入れてもらいたいこと」について、「信号機、道路標識・標示など道路交通環境の整備」が最多で、次いで、「交通違反の取締りの強化」、「交通死亡事故発生場所など、交通危険箇所の情報提供」、「交通安全教育の推進」の順に回答が多い。

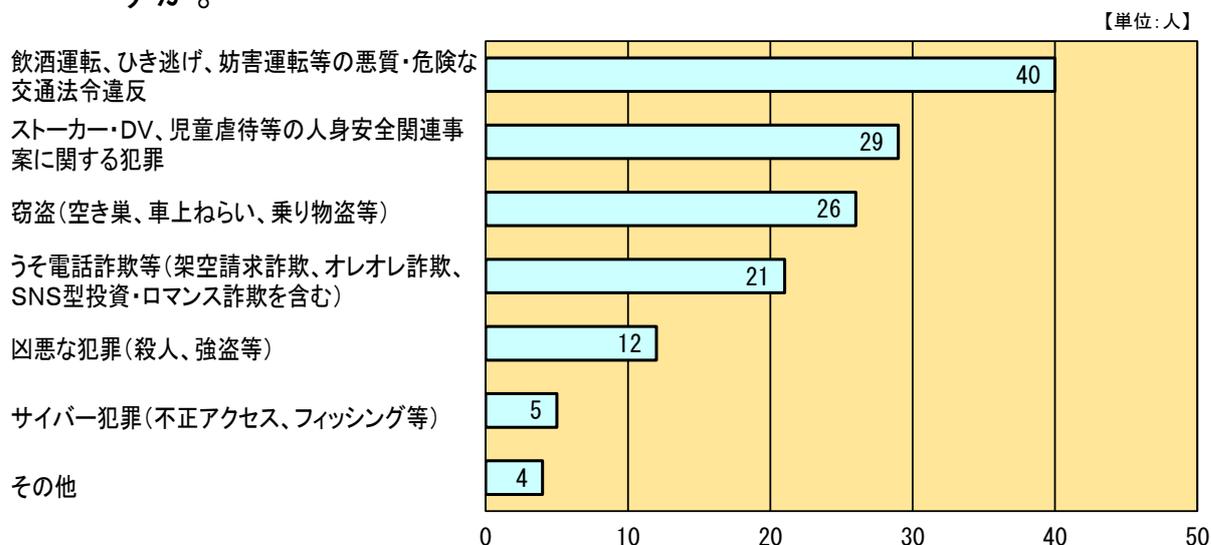
## 6 県警察に対する要望等について

問11 警察に特に力を入れてほしい活動として、どのようなものを望みますか。



「警察に特に力を入れてほしい活動」について、「犯罪抑止対策（パトロール、犯罪の発生状況や防犯に関する情報提供など）」が最多で、次いで、「住民の困りごと、意見・要望等の聴取、住民に対する助言」、「交通違反の取締りや交通安全指導」、「犯罪の検挙（犯人の逮捕など）」の順に回答が多い。

問12 警察に特に力を入れて取り締まってほしいと思う犯罪は何ですか。



「警察に特に取り締まってほしい犯罪」について、「飲酒運転、ひき逃げ、妨害運転等の悪質・危険な交通法令違反」が最多で、次いで、「ストーカー・DV、児童虐待等の人身安全関連事案に関する犯罪」、「窃盗（空き巣、車上ねらい、乗り物盗等）」、「うそ電話詐欺等（架空請求詐欺、オレオレ詐欺、SNS型投資・ロマンス詐欺を含む）」の順に回答が多い。